A J U





NPO 法人 高次脳機能障害友の会みずほ発行 会報 第85号 〒460-0021 名古屋市中区平和 2-3-10 仙田ビル

電話/FAX 052-253-6422

メールアト・レス npo-mizuho@miracle.ocn.ne.jp ホームへ・・シ゛ http://www.npo-mizuho.com



あいちアール・ブリュット展 優秀作品に選ばれた 中山麻木さんの作品

## 目次

- 連携調整委員会報告 P2
- 高次脳機能障害リハビリテーション Web 講習会のご案内 P3~4
- ミラクル&レディース P5
- 働くなかまの集い P6~7
- キッズプラス P7
- 企画グループ P8~9
- 若い失語症者のつどい P10~11
- 地区会だより P11~12
- ご家族からお話を聴きました P13
- ワークハウスみかんやま P14~15
- お知らせ P16

テーマ:山 「交通事故にあう前に習っていたガラスを忘れたくなくて、ガラスのビーズを使い、ガラスの器を作っている感覚で、バッグに刺しゅうしています。大好きな山を作りました。大きくなると、色が混ざり合う迫力が出て面白いです。(中山)」

## 連携調整委員会報告

コロナ禍の中でのオリンピック(7/23~8/8)パラリンピック(8/24~9/5)の開催は賛 否両論ありましたが、アスリートたちが与えてくれた感動は最高でした。中でもパラリン ピック競技のボッチャは、ワークハウスみかんやまのプログラムで実践していたこともあ り、TV 観戦での応援にも力が入りました。 皆さまはどのような競技に注目されていたで しょうか?

さて、9月8日(水)令和3年度 第1回相談支援体制連携調整委員会に出席しましたので一部報告させていただきます。

全国連絡協議会報告の中に、平成 16 年に高次脳機能障害診断基準が確立されて年月も経過、現在では概念整理・アンケート調査・文献調査が行われ、新しい高次脳機能障害診断基準ガイドラインの作成が進められているという記載がありました。このことからリハビリテーションやサービス提供・「見えにくい障害」に対する理解を深め、啓発を促す効果が期待されます。また、支援マニュアル作成や支援者養成に関しても取り組みがなされているようです。ちなみに、名古屋リハの鈴木副センター長も委員のお一人であり、このことは私たち家族会の声を届けたいと思うとき心強いところでもあります。

また、名古屋リハでは7月1日より組織が変更され「なごや高次脳機能障害支援センター」が開設されたことも取り上げられました。既に web 講演会を視聴されご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、従来の支援コーディネーターに加え、Dr、OT、ST、公認心理士も病院との兼務で配置されました。その一つとして OT 中心に運転再開支援についてさらなる充実を図るということで自動車運転の評価・相談はもとより、地域の回復期リハ病院・公安との連携も進められるということです。みずほ家族会では日頃話題になっている自動車運転について評価にとどまらず訓練の整備も急務と考えていますので、今後相談していきたいと思っています。

実績報告の場では、愛知高次脳機能障害協議会、NPO法人 高次脳機能障害友の会みずほの活動報告と共に、二次的に精神疾患が出てくる方も多く見受けられる現状を訴えてまいりました。この点に関しては、稲垣医師から今後必要な対応方法を検討していきたいとのコメントもいただきました。

最後に、一昨年から委員会で3つのワーキンググループグループを結成し、医療機関向 けリーフレット・サポートファイル (印刷物・スマホ版)・支援マップ作成のために活動し ています。年度内の活用開始を目標に取り組まれている状況です。

(みずほ副理事長 河田)



## 高次脳機能障害リハビリテーション Web 講習会のご案内 「イラストでわかる!高次脳機能障害支援」



昨年度同様に、新型コロナ感染症予防のため、講習会を Web で配信します。 今回は、イラストで色々な場面を紹介します。「高次脳機能障害の夫と暮らす日常コミック『日々コウジ中』」や、「高次脳機能障害『解体新書』」でおなじみのイラストレーター 柴本 礼 さんに、当事者の方たちの体験談を場面ごとにわかりやすく描いていただきました。

第1部の講義は、なごや高次脳機能障害支援センター長 稲垣 亜紀氏より、「高次脳機能障害とは」と題してお話しいただきます。第2部の当事者体験談では、2名の方の日常生活や会社での困りごとにどう対応しているか、その具体的な部分をお届けします。

私たち当事者・家族を含め、医療・リハビリ関係者、社会福祉施設支援者、行政関係者など多くのみなさまに、もう一度高次脳機能障害という後遺症についての理解を深めていただきたいと思います。

前のページをご覧いただき、スマホなどで QR コードから「お申し込みフォーム」を読み込んでください。ご視聴頂ける期間は、来年 1 月 10 日 (月)  $\sim$  22 日 (土) です。お申し込み、お待ちしています!

## 自転車、安全に乗っていますか?

みなさんは、自転車に乗りますか? 自転車は、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の人たちが移動手段として手軽に使えるものです。でも、ここ数年、対自動車だけでなく、対歩行者といった事故もとても増えています。実際、私も何度か危ない場面に遭遇したことがあります。歩道でスピードを出して走っていたり、スマホを見ながらだったり・・。道路上でも、車とは逆向きに右側を走行する人が増えているなど、危険運転と言える走行をする人がとても多くなっていると感じます。道路交通法上、自転車は車両扱いです。エンジンはついていませんが、いつも意識して基本を守って乗ってほしいと思います。

愛知県では、条例改正により 10 月 1 日からヘルメット着用が努力義務!と位置付けられました。当事者の息子も、知らぬ間に自転車屋さんで買ってきて、かぶって事業所へ通所しています。乗る自分の頭部を守る、乗ったら交通ルールを守る。

自転車だけでなく、自動車を運転する人も歩行者も、事故に遭わないよう、事故を起こ さないよう気をつけましょう! (長谷川)